

## 5. 事業の概要

### (1) 学園共通

#### 【方針】

地域から評価され、選ばれる学園の実現を通じて、地域において確固たる地位を築き、安定した経営を目指していく。

#### ① 魅力ある教育の提供

地域社会との交流を大事にし、学生・生徒の声に耳を傾け、それに応える学校づくりを行う。入学した学生・生徒が楽しく充実した学校生活を送り、希望の進路を実現し、満足して卒業できる教育を提供する。また、学生・生徒が安全に気持ちよく生活できるキャンパス環境を提供する。

#### ② 特色ある学校づくり

経営環境や他の教育機関の動向をしっかりと分析しながら、各学校の魅力・特色を打ち出すためのカリキュラムの見直し及び研究の充実といった教育・研究、就職・進路、募集・広報等において、他の教育機関に無い特色と成果を出すことにより差別化を図り競争力をつける。

#### ③ 目標と情報の共有化

経営改善目標、成功事例等を学園内で共有化することにより、理事会と教職員が一体となりグループの総合力を発揮し経営改善目標を達成していく。また、具体的な目標を教職員全員で共有化することにより、帰属意識を高め、働きがいと誇りを持って学生・生徒の支援や教育にあたることのできるような職場を目指す。

#### ④ 安定した経営基盤の確立

各学校の魅力を適切に伝え、入学者を確保することにより収入の増加を図るとともに、経費の削減を実施し、安定的な経営基盤を実現していく。

#### ① 学生・生徒の満足度の向上

- ア. 授業評価による満足度の把握と対策やFD活動を通じ、教員の教育力の向上を図りました。
- イ. 資格取得の指導やサポートを教職員が全力で行い、地域に貢献できる人材の育成に努めました。
- ウ. 学生・生徒の希望進路の実現のための支援を教職員が一丸となって積極的に取り組みました。

#### ② 各学校の評価・認知度の向上

評価を向上させる特色づくりとして、大学では専門科目等の充実を図るためのカリキュラムの見直し、短大では新しいフィールドの追加の検討などを行いました。また、教員による出張講義（知の拠点のアピール）、教育施設の開放、ボランティア活動等地域社会との交流を積極的に図りました。

#### ③ 経営改善に関する取り組み

経営改善目標、成功事例等の情報を学園内で共有化するため、必要に応じ経営改善に関する会議を行いました。特に大学においては、各委員会で議論された情報を教務・就職・学生委員長が共有し協議を行い、大学の意思決定に役立つようなボトムアップの機能が確保されました。また、目標の共有により職場が活性化されました。

#### ④ 安定した経営基盤の確立

高校は、在籍者数増加により学納金及び補助金等が増加しました。教育活動に必要な重点施策への十分な支出を確保しながら、支出の削減を行いました。

## (2) 大学

教員の教育力により大きな成果をあげ、その成果を募集の好転へ繋げるべく、新たなスタートを切りました。

### ① コース制及びカリキュラムの見直し

専門教育科目及び一般教育科目の充実を図るために、平成 27 年度中にコース制及びカリキュラムの大幅な見直しを行い、平成 28 年度は新カリキュラムのもとスタートを切りました。

さらに、キャリア関連科目及び資格関連科目(SPI 対策・数的処理等)のエクステンション(課外講座)化を行いました。

コース制及びカリキュラムについては、学生に説明を行うとともに、保護者懇談会において保護者に説明を行いました。

また、平成 28 年度も、平成 29 年度に向けたカリキュラムの検討を継続的に行いました。

### ② 授業改善

FD\*推進委員会及び FD 推進室が主体となり、分かり易い授業の実施や授業の工夫改善への諸施策に取り組みました。

ア. ゼミ公開・グループディスカッションの実施

イ. 公開授業・グループディスカッションの実施

ウ. 大学図書館を活用した授業事例・ラーニングコモンスの活用法についての研修会

エ. 「FD ハンドブック」の編集

オ. 学生による授業アンケートの実施

\*FD (ファカルティ・ディベロップメント): 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み。

### ③ コンピテンシー (社会対応力) 育成プログラムの推進

プロジェクト型授業に全ゼミが参加し、学生が主体的にプロジェクト型授業に取り組みました。

### ④ 資格取得

大学共通資格やコース推奨資格において合格者を多数輩出しました。

MOS\*\* (Excel) 合格率 90.0%

ニュース時事能力検定合格率 94.6% 等

\*\*MOS: Microsoft Office Specialist

### ⑤ 教職課程について

教員採用試験対策として、課外講座、個別指導、小論文対策講座、採用試験で問われる教育に関わる社会体験活動として、出張講義を行いました。

### ⑥ 就職・進路支援活動

キャリア科目、合同企業説明会、企業訪問、インターンシップ実習を実施しました。

平成 28 年度の内定率は 97.2%でした。

### ⑦ 生涯教育活動・地域連携

ア. 地域の要請に応え、市民講座や企業の研修会等の講演や教育活動に、延べ 49 名の教員を講師として派遣しました。

イ. 公開講座、教員免許状更新講習を行いました。

ウ. 学生を主体とし、地元小学生や地域の人達との交流を図りました。

### ⑧ 課外活動の活性化

女子サッカー部、男女ソフトボール部、柔道部 (団体・個人)、女子バスケットボール部、陸上競技部 (個人) が全国大会に出場しました。

### ⑨ 平成 29 年度入学者募集

各コースの教育特色・教員構成・取得資格・就職等を、学校訪問・進学説明会 (出張講義)・オープンキャンパス等を通じ、募集・広報活動を実施しました。

### (3) 短期大学

教職員が協働してフィールド制の充実、実践的教育の実施及び進路支援の強化を図り、学生の満足度向上・進路希望の実現に努めました。

#### ① 資格取得実績

平成 28 年度の卒業生について、保育士資格は 90.8%、幼稚園教諭二種免許は 93.3%の学生が取得しました。

#### ② フィールド科目履修状況

興味・関心に合わせて自由に学べるフィールド科目の学生の関心及び満足度は高いものでした。また、30 年度から 7 つのフィールドに拡充することを検討しました。それに先駆け、29 年度からさらに 3 つの資格が取得可能となります。

#### ③ 組織的 FD\*

\*FD (ファカルティ・ディベロップメント) : 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み。こども学科の教育計画、重点施策の確認及び授業改善に向けた協議を実施しました。

#### ④ 教育指導に対する学生の評価

授業評価と学生意識調査を実施し、その結果を授業の改善や学生の満足度向上に活かしています。

#### ⑤ 就職・進路支援活動

進路支援講座及び模擬面接を行い、就職試験時の面接に対する学生の対応力の向上を図りました。平成 28 年度の内定率は 99.2%でした。

#### ⑥ 図書館業務

実習や就職に必要な文章力を養い、幅広い教養を身に付けられるよう図書の充実を図りました。

#### ⑦ 保護者向け教育懇談会

1 年次生保護者向け・2 年次生保護者向けの教育懇談会を、それぞれ実施しました。

#### ⑧ 公開講座

全 3 回実施し、延べ 35 名の受講者がありました。

#### ⑨ 教員免許状更新講習

参加教員は 103 名でした。

#### ⑩ 附属高等学校とのコラボ授業

高大連携授業に高校 3 年生が参加しました。

#### ⑪ 平成 29 年度入学者募集

高校訪問・進学説明会・オープンキャンパス等の募集・広報活動に全ての教職員で取り組みました。

#### ⑫ その他 (付設機関)

##### ア. こども研究センター

子育て支援センター育児講座への講師派遣、リカレント教育の一環としてのこども学科卒業生の集い、こども園園長による保育研究グループとの共催での合同研究会の開催、出前授業などを実施しました。

##### イ. ヴェルボトナル言語教育研究所

ヴェルボトナル法 (VT 法) による聴覚・言語障害児の言語指導、理論と技法の研究、VT 法の普及の 3 点に心掛け活動を行いました。

#### (4) 附属高校

生徒の進路希望を実現する学内体制をさらに充実させ、生徒の学校生活における満足度向上に全力を尽くし、そして生徒・保護者から評価され、「選ばれる学校」となると同時に地域から「安心して子供を託すことができる学校」という評価を目指し、取り組んできました。

##### ① 教科学習・授業の充実と学力向上

長期休業中に補習・課外授業や学習合宿を実施しました。

年3回授業アンケートを実施し、生徒の声に耳を傾け、教員自ら授業改善・工夫に努めました。

##### ② 教員資質の向上

ア. 授業公開を行いました。

イ. 教員研修を行い、教科指導力の向上を図りました。

##### ③ 就職・進路支援活動

外部模試による学力の測定、課外授業、学力検討会、志望校検討会、センター試験出願説明会、学習合宿、学科研究、進路講演会、職業講話、就職支援、資格取得支援などを実施しました。

##### ④ 生徒支援の充実

基本的な生活習慣を確立するために、欠席・遅刻指導、授業態度指導、身だしなみ指導を担当・学年主任・生徒支援部との連携の中で段階指導を行うことができました。

##### ⑤ 特別活動の活性化

クラブ加入率の向上が図られました。

##### ⑥ 国際交流の充実

アサートン高校（オーストラリア）への短期留学を実施しました。

##### ⑦ 学校評価の実施及び公表

学校評価（自己評価）を実施しました。

##### ⑧ 平成29年度入学者募集

平成28年度の事業計画に基づいた募集・広報活動を展開しました。学校説明会、中学校訪問、学習塾訪問等を実施しました。

## (5) 教育環境・情報基盤の維持管理

平成 28 年度におきましても、学生・生徒を支援するため、教育環境と教育基盤の整備を積極的に行いました。

### ① 施設整備

平成 26 年度に実施した非構造部材の耐震点検結果等を反映し、必要な改修工事等を実施して教育環境の整備を図りました。また、平成 27 年度に実施した建築基準法第 12 条点検結果等に基づく防火戸の補修等を実施しました。

高校につきましては熱中症対策等の観点から、トレーニングルームに改修するとともに、必要な機器等を整備して、教育環境の充実を図りました。この際、高校同窓会からの寄付も活用しました。

### ② 設 備

老朽化した空調機及び自家用電気工作物の更新・整備を実施し、教育基盤の整備を図りました。

### ③ 構内整備

太田キャンパス・館林キャンパスの花壇や芝生の整備、樹木の剪定及び構内の廃棄物の処理等を行い、学生・生徒が気持ちよく学べる環境作りを行いました。

### ④ 安全対策

熱中症指数測定器の活用等により学生・生徒の熱中症対策を強化しました。

### ⑤ 情報基盤設備

情報基盤整備を実施し、教育環境の整備や情報分析・セキュリティ対策の強化を図りました。